

○ 桑名市の財政

桑名市の財政  
どうなってるの？！  
財政状況



## 目次

- 1 財政のしくみをおしえて! ..... 2
- 2 平成24年度の決算はどうだったの? ..... 3
- 3 借金はいくらあるの? ..... 5
- 4 貯金はいくらあるの? ..... 6
- 5 指標を見てみよう!  
経常収支比率と健全化判断比率 ..... 7
- 6 これからどうなるのかな? ..... 9
- 7 こんなところにお金が使われているんだ ..... 10
- 8 桑名市の財政状況をまとめると... ..... 14

### どうなってるの?

### 桑名市の財政状況って。

### 厳しいって聞くけど、

### どのくらい厳しいの?

市民の皆さんに、市の財政状況の本当の姿を知っていただくため、なるべく分かりやすく説明をしたいと思えます。

それでは、ゆめ はまちゃんと一緒に見ていきましょう。



# 1

## 財政のしくみをおしえて!



### ◆ 市の会計のしくみ

市が仕事をするための財布を「会計」といいます。その財布の中身は、みなさんの持っている財布と同じように、入ってくるお金「歳入(収入)」と、使うお金「歳出(支出)」があります。



### 市の財布は大きく分けて3種類あります



### ◆ 予算と決算って?



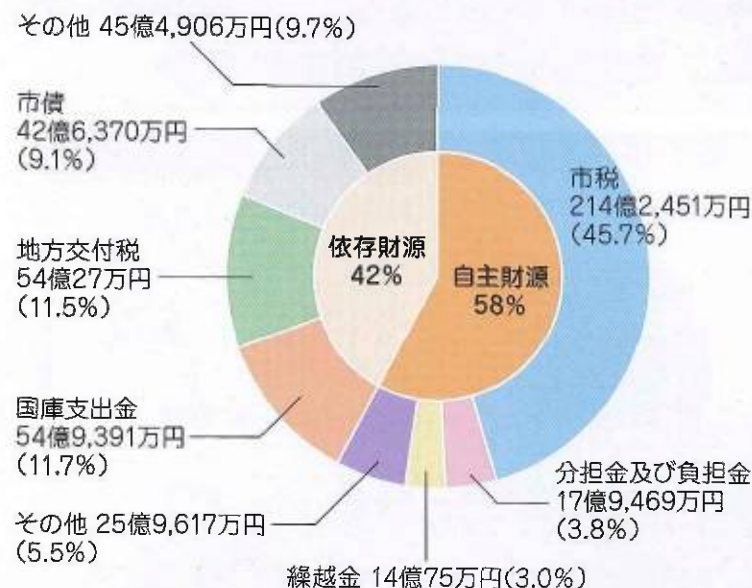
# 2

## 平成24年度の決算は どうだったの？



### ◆ 一般会計

【歳入 469億2,306万円】



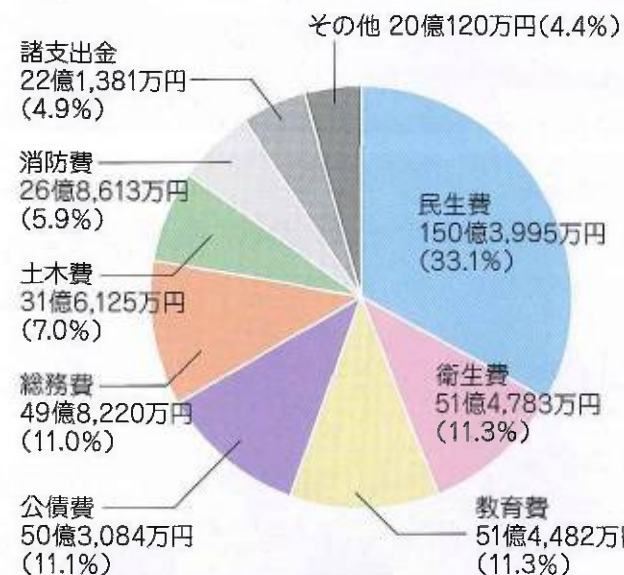
#### 【自主財源】

市税…皆さんに納めていただいた市民税など  
分担金及び負担金…保育料や受託消防の負担金など  
繰越金…平成23年度から繰り越されたお金  
その他…基金からの繰入金や公共施設の使用料など

#### 【依存財源】

国庫支出金…国が認めた事業に対し交付されたお金  
地方交付税…所得税などの一定割合分を国から交付されたお金  
市債…公共施設の建設などのために借り入れたお金  
その他…県支出金や地方消費税交付金など

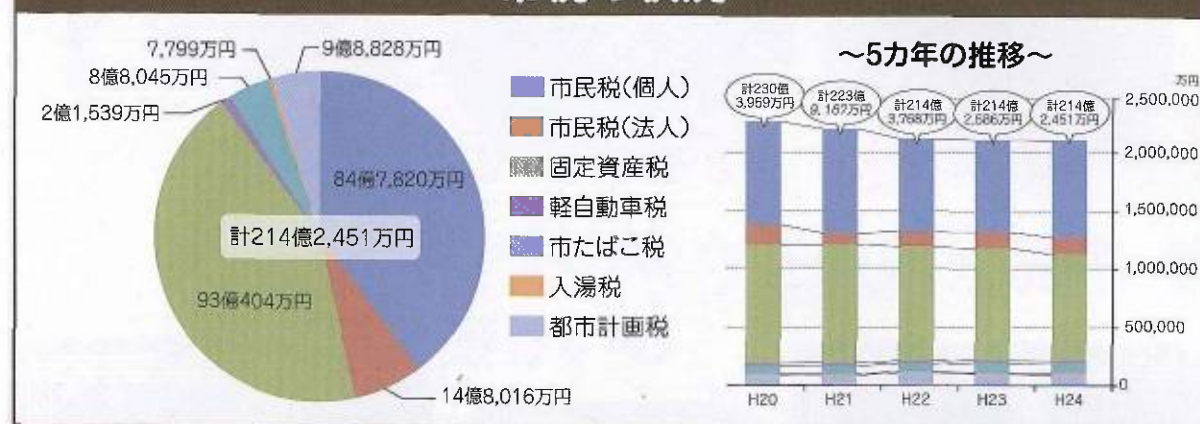
【歳出 454億803万円】



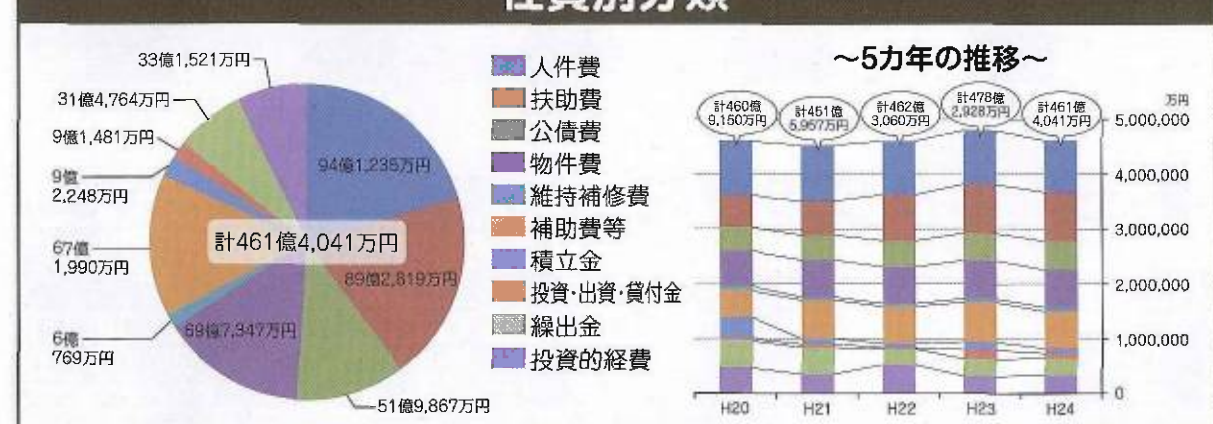
民生費…児童、高齢者、障害者の福祉などに使ったお金  
衛生費…健康診断、予防接種、ごみ処理などに使ったお金  
教育費…学校教育、生涯学習、文化振興などに使ったお金  
公債費…市の借金返済に使ったお金  
総務費…庁舎の管理、戸籍、徴税、選挙などに使ったお金  
土木費…道路・公園などの公共施設の整備・維持に使ったお金  
消防費…消防・救急、防災対策などに使ったお金  
諸支出金…企業会計への繰り出し金など  
その他…農業、漁業、商工業の振興などに使ったお金

▷歳入と歳出の差し引き15億1,503万円は、全額平成25年度に繰り越しました。

### 市税の状況



### 性質別分類



● 特別会計 ●

歳入額 / 251億3,225万円    歳出額 / 243億8,329万円

● 企業会計 ●

収入額 / 81億1,393万円    支出額 / 101億1,032万円



1年間で、これだけのお金の動きがあったんだね。歳入のうち大きな割合を占める市税は、この5年間で、だんだん減ってきているね。歳出は、福祉(民生費、性質別分類の扶助費)に使うお金の割合が大きく、この5年間で、だんだん増えてきているね。一般会計では、入ってくるお金の方が多いから、余裕があるように見えるけど、どうなのかな？

# 3

## 借金はいくらあるの？

### ◆なぜ借金をするの？

公共施設の建設や新しい道路の整備など、臨時的に多額の費用が必要となる場合には、市の借金である地方債を発行することができます。

地方債には、10年20年にわたって使えるものであれば、必要な財源を当該年度の税金だけで負担するのではなく将来にわたって負担することで、世代間の負担を平準化させる機能もあります。

市民会館のリニューアル、小中学校・幼稚園の耐震化や斎場(火葬場)の建設などは、地方債を発行することで事業を進めることができます。

### ◆地方債残高の推移(普通会計)



### ◆一人あたりの借金(地方債現在高:平成24年度)

(単位:一人あたりは円, 現在高は百万円)

区分	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	亀山市	鳥羽市	熊野市	いなべ市	志摩市	伊賀市
一人あたり	322,405	270,802	365,435	296,051	372,779	231,671	382,788	524,952	364,685	596,915	704,407	427,844	556,777	593,781
地方債現在高	92,083	84,814	48,259	50,234	53,131	46,659	31,297	10,560	18,128	12,641	13,282	19,805	30,916	57,710
人口	285,614	313,195	132,058	169,681	142,526	201,403	81,760	20,117	49,710	21,177	18,855	46,290	55,526	97,190



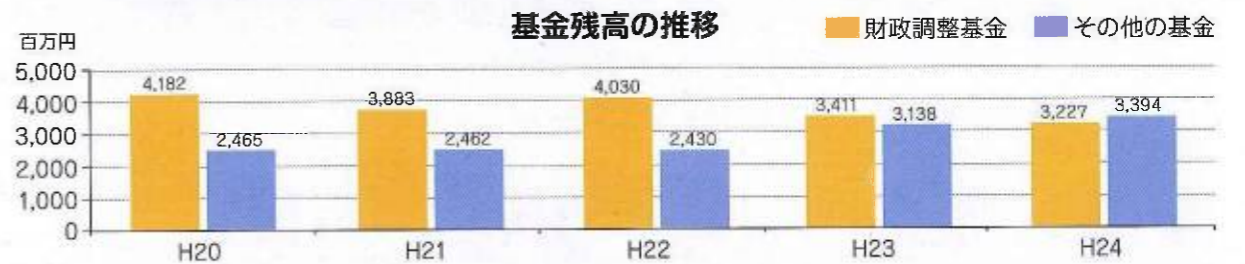
# 4

## 貯金はいくらあるの？

### ◆基金とは？

市の貯金にあたるのが基金です。

公共施設の整備など特定の目的のために積み立てる基金と、不況による税収減や災害の発生など不時の支出増加に備えるために積み立てをしておく「財政調整基金」があります。



### ◆一人あたりの貯金(財政調整基金:平成24年度)

(単位:一人あたりは円, 現在高は百万円)

区分	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	亀山市	鳥羽市	熊野市	いなべ市	志摩市	伊賀市
一人あたり	64,210	29,159	76,958	51,594	22,644	40,212	166	70,537	79,606	17,536	172,520	163,584	47,412	41,314
財調現在高	18,339	9,132	10,163	8,755	3,227	8,099	14	1,419	3,957	371	3,253	7,572	2,633	4,015
人口	285,614	313,195	132,058	169,681	142,526	201,403	81,760	20,117	49,710	21,177	18,855	46,290	55,526	97,190



一人あたりで示した場合、県内14市の中では、借金は多い方から8番目、貯金は少ない方から3番目なんだね。借金は年々増えて、貯金(財政調整基金)は年々減ってきているけど、大丈夫なのかな。  
次のページでは、指標を使って財政状況を見てみよう。



# 5

## 指標を見てみよう!



### ◆ 経常収支比率

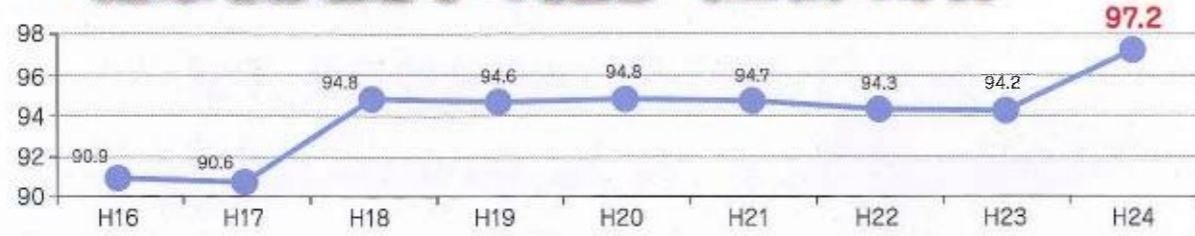
自由に使えるお金の度合い、つまり、財政の『ゆとり』を示す指標です。

**毎年決まって支出する経費**  
**毎年決まって収入されるお金** (%)

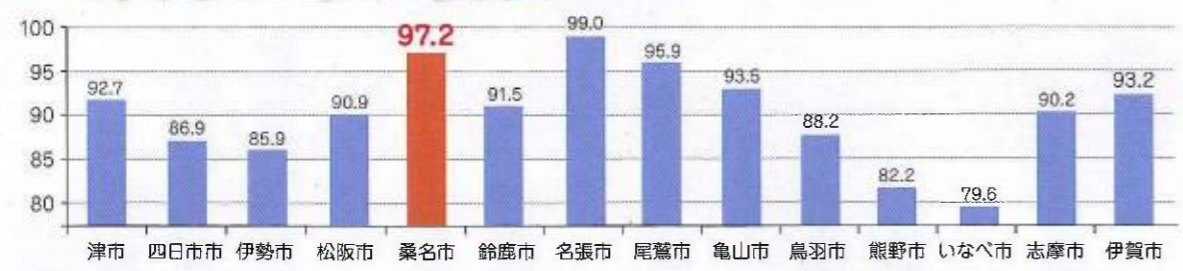


数値が高いほど、財政の自由度が小さいことを示します。

### ◆ 経常収支比率の推移 (合併以降)



### ◆ 県内14市の状況 (平成24年度)



県内14市の中では、2番目に高い数値になってるね。平成24年度は、また数値が高くなったみたいだけど、平成16年度と比べると、随分「ゆとり」が少なくなったね。このままだと100を超えちゃうんじゃないのかな？  
(経常収支比率が100を超える状態とは、毎年収入されるお金では足りず、貯金を取り崩すなどの臨時的な収入に頼らざるを得ない状況です)

### ◆ 健全化判断比率

財政危機の早期発見と健全化を促すことを目的として、平成19年度決算から公表することが法律で義務付けられている4つの指標です。



### ◆ 県内14市の状況 (平成24年度)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	亀山市	鳥羽市	熊野市	いなべ市	志摩市	伊賀市
実質公債費比率	9.8	13.7	5.9	7.5	11.3	7.2	17.7	10.2	4.2	9.6	5.5	8.9	11.2	13.9
将来負担比率	52.2	66.0	-	18.7	115.5	32.5	209.7	86.8	-	84.8	30.3	-	78.8	114.0

※将来負担比率「-」: 実質的な負債額が算定されないことを示します

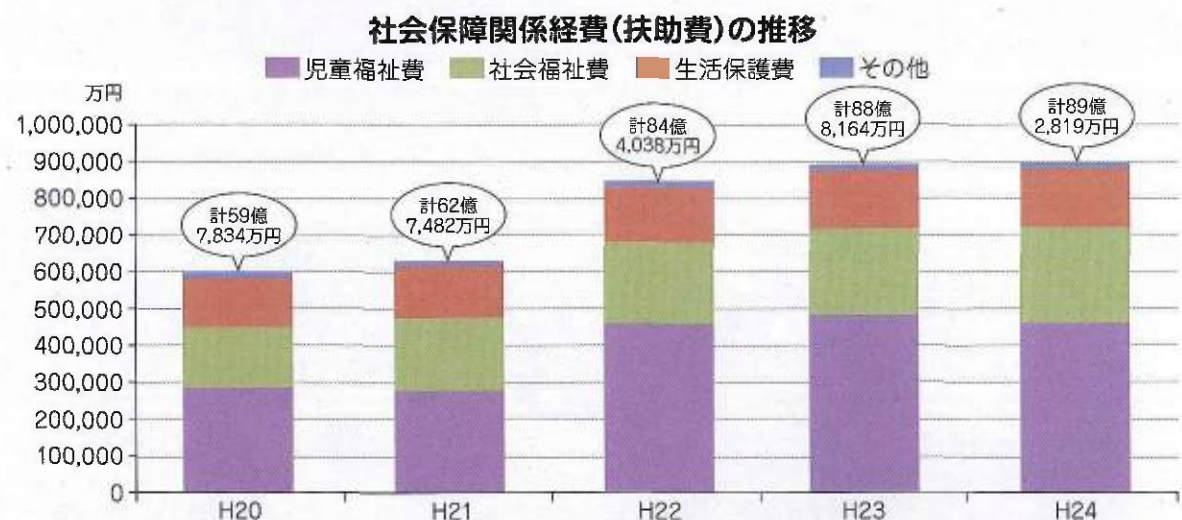
借金の状況は、指標は基準を下回っているし、年々良くなってきているけど、県内14市の中では高い方から数えて、実質公債費比率は4番目、将来負担比率は2番目になっているね。「ゆとり」が少ない(経常収支比率が高い)と、「借金」の状況も良くない(健全化判断比率が高い)ことが分かるね。



# 6 これからどうなるのかな？

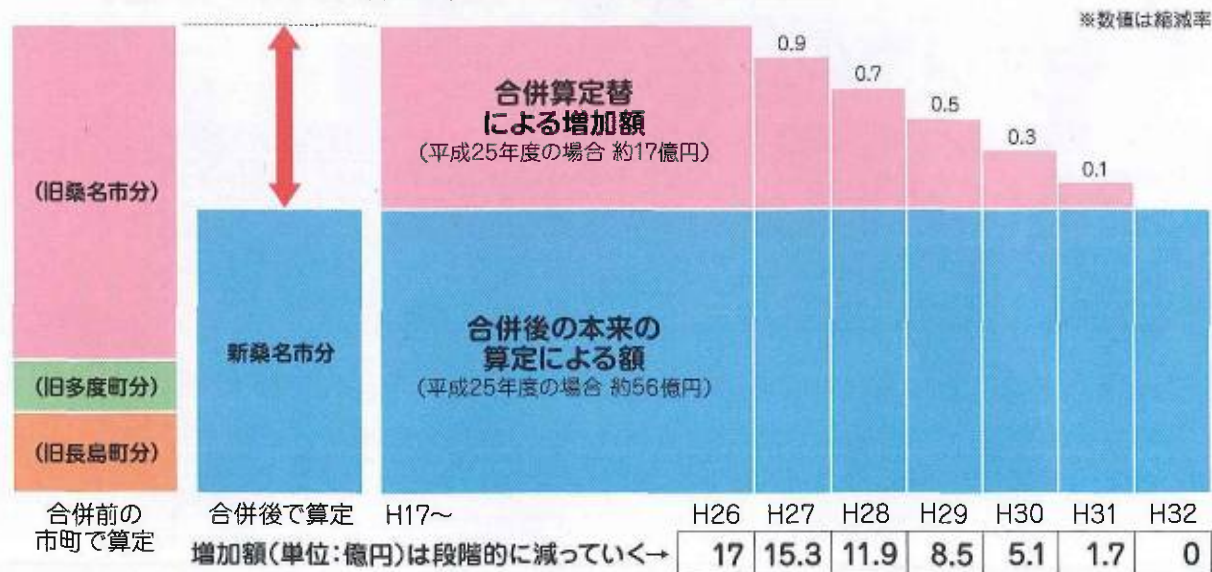
## ◆ 増え続ける歳出！

少子高齢化に伴う人口構造の変化などの様々な課題に対応するため、社会保障関係経費は、年々、増加しています。



## ◆ 国から交付されるお金が減っていく！

平成27年度から、合併前の市町ごとに算出した普通交付税額がもらえる特例措置(合併算定替)が段階的に縮減し、最終的には約17億円の歳入が減ると試算されます。(平成25年度 普通交付税額の場合)

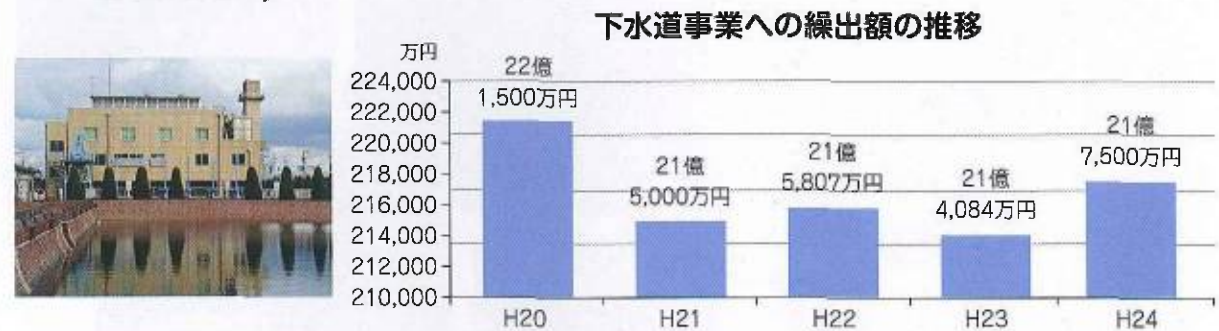


※金額は、普通交付税額と臨時財政対策債発行可能額の合計  
 ※合併算定替: 合併後、当面は行政経費の急激な節減の困難さを考慮し、一定期間、合併前の市町ごとに算出した普通交付税額がもらえる特例措置(桑名市は平成26年度までの10年間と、その後の5年間で段階的に縮減)

# 7 こんなところにお金が使われているんだ

## 下水道事業会計への補助

下水道事業は、生活污水と雨水排水の処理を行っています。生活污水は、受益者負担の観点から、その経費の一部を使用料という形で負担していただいておりますが、雨水排水はそのような考え方ができにくいことから、排水路やポンプ場の整備、維持管理費などの経費のほとんどは、税金でまかなわれています。(税金を歳入している一般会計から、下水道事業会計への補助(繰出金)になります)



## 図書館の運営費

旧市町ごとに整備された中央図書館(メディアライヴ)、ふるさと多度文学館及び長島輪中図書館(ながしま遊館)の3館の図書館を運営しています。3館の運営経費として、年間4億5,397万円がかかっています。(※平成24年度実績)



蔵書数(3館合計)  
**517,851冊**  
 1人あたり負担額  
**3,185円**

## 公園の管理費

市の都市公園は、198箇所、面積は104ヘクタールに及びます。これらの公園の維持管理経費として、年間2億878万円がかかっています。

(\*平成24年度実績)



1人あたり公園面積

7.2㎡

1人あたり負担額

1,465円

## 斎場の建設費用

最近整備した大型の施設として、斎場があります。平成20年度から平成22年度までの3ヶ年度で整備し、総事業費は22億4千万円です。その財源内訳は、国からの補助金が1億7千万円、地方債(借金)が14億9千万円、残り5億8千万円は一般財源です。



1人あたり負担額

15,694円

(うち借金:10,461円)

## 広報くわな・くわな市議会だより

毎月2回発行している「広報くわな・お知らせ版」の印刷経費として1,703万円、年4回発行している「くわな市議会だより」の印刷経費として255万円がかかっています。

(\*平成24年度実績)



1人あたり負担額

137円

## 救急出動

救急出場件数は年々増加しており、平成24年度は8,231件でした。その費用は、人件費や救急車の管理費なども積算すると3億3千万円の経費がかかっていることから、1件あたりに換算すると約4万円となります。緊急を要する方のためにも、適正な利用をお願いします。



1回の出動経費

約40,000円

## 鉄道・バス

鉄道では三岐鉄道北勢線と養老鉄道へ運営していくための補助を行っているほか、高齢者や学生など車を運転できない方の移動手段のひとつとして、コミュニティバスを運行しています。

これら、公共交通機関は、利用者の料金だけでは維持できないため、多くの税金を使って地域全体で支えられています。

市が負担する費用は、利用者が多いほど少なくなるため、マイカー中心の交通利用を見直し、一人でも多くの方に公共交通機関を利用いただくことで、税金を効率的に活用して公共交通機関を維持していくことができます。

### 1人あたり負担額

北勢線	1,323円
養老線	334円
バス	666円

(\*平成24年度実績)



## ごみ処理



### 1人あたり年間処理費(家庭系ごみ)

資源物以外のごみ(可燃・不燃・粗大・プラごみ等)	16,204円
資源物	1,598円

家庭から出るごみを処理するためには、収集運搬から廃棄処理までに多くの経費が必要となります。経費の一部には、市が指定するごみ袋の購入代金が使われていますが、大部分は税金でまかなわれています。

ごみの処理は、一人ひとりがごみの分別とごみを出さない工夫をすることによりごみの減量につながり、処理経費も抑えることができます。

ご協力をよろしくお願いします。

# 8

## 桑名市の財政状況をまとめると...

### ◆ 3つの「ない」



桑名市の財政状況は、この3つの「ない」が影響し合い、簡単には抜け出すことのできない厳しい状態にあると言えます。さらに、余裕がない収支には、「増え続ける歳出」と「減っていく歳入」という、ますます厳しい状況が待っており、厳しさはよりいっそう増すことが予想されます。







## 市民の皆さんへ

パンフレットをご覧になられてどう感じられましたか？

桑名市の財政は、ただちに立ち行かなくなるというわけでは  
ありませんが、決して余裕があるというわけでもありません。

そのような中で、少子高齢化に対応した施策、災害に強いま  
ちづくり、新病院や桑名駅周辺の一体的な整備など本市には  
様々な課題があります。

これら課題の解決に向けて、市の財政状況についての情報  
を皆さんと共有し、納税者の視点で次の世代に責任ある財政  
となるよう、このパンフレットを作成しました。

これからは、さらに市民の皆さんと力を合わせて、市  
の抱える様々な課題を解決していく、全員参加型の市政  
を進めていきたいと考えています。

ご覧になられてのご意見やご感想をぜひともお寄せ  
いただきますよう、心からお待ちしています。



平成26年3月 桑名市長 伊藤 徳宇

---

発行：桑名市役所 総務部 財政課  
〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地  
TEL:0594-24-1137 FAX:0594-24-1350  
MAIL:zaimum1@city.kuwana.lg.jp  
URL:<http://www.city.kuwana.lg.jp/>

---

※この冊子は、3,000部作成し、印刷経費は1部あたり約100円がかかっています。

このパンフレットは再生紙を使用しています。